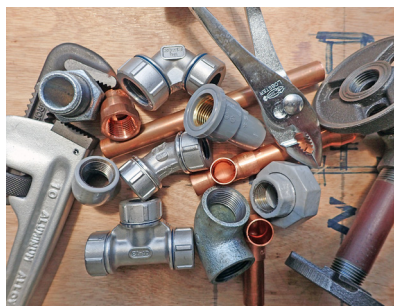


「技術で、生きてく。」

——社会に求められる技術を持った人材育成のために



設置・運営 ● 高知県
所在地 ● 高知市仁井田1188番地
訓練課程 ● 機械加工科・溶接科・オートボディ科・電気工事科・
自動車整備科・配管科



配管作品



溶接実習

高知県立高知高等技術学校は、高知県が設置・運営している職業能力開発校で、坂本龍馬像のある「月の名所」桂浜の近くに設置されている。

普通課程の訓練として、高卒者対象の6コース（機械加工科、溶接科、オートボディ科、電気工事科、自動車整備科、配管科）、中卒者対象の1コース（オートボディ科）がある。令和4年度より、受検資格の年齢制限を撤廃したことにより、セカンドキャリアのための資格取得を目指して60歳以上の訓練生も在籍している。

また求職者支援のための委託訓練や在職者に対する技能向上のための職業訓練を実施している。

特徴的な取組

本校は「技術で、生きてく。」をキーワードとし、そう決意した入校生が、社会でより大きく活躍できるよう人材育成を行っている。さらに、地域社会とも連携し、ものづくり技術を広く知っていただくためにも、次のような特徴ある取組を行っている。

①バスによる高校生の見学ツアー

県内高校のキャリア教育の一環として、本校の見学を実施していただいている。令和4年度は8校が来校し、各コースの見学及び体験実習を経験していただいた。

②出前授業

県内工業系の高校へ、その学校の卒業生をはじめとした訓練生を同行させ、溶接等の技術指導を行っている。また、その他の普通科や定時制高校へは、冷蔵庫用マグネットの塗装実習、塩ビ管によるブックスタンドの製作、自動車の構造についての講習を行うなど、昨年度は7件の出前授業を実施した。

③技能者養成コース
（普通課程と学ぶ長期在職者訓練）
溶接科、機械加工科の普通課程の欠員枠を利用して、4月当初より在職者訓練を実施し、本校の新入生と一緒に約3カ月間の職業訓練を行っている。

県内企業の新人社員の方にご利用いただき、各種特別教育や技能講習の取得、各種溶接法の基礎及び普通旋盤やフライス盤の操作方法の基礎を訓練している。

④異業種との連携

（日本政策金融公庫との取組）

昨年度から、日本政策金融公庫高知支店と連携し、公庫の若手職員に普通旋盤とフライス盤の切削加工を実際に体験していただいている。「自分が担当する企業の技術や機械のことを知らずに対応している職員が多くなっている」という実情を知ったことが取組のきっかけであった。

本校としても、広く県内企業に学校のことを紹介していただけるというメリットもあり、異業種との連携に取り組んでいる。

⑤メディアツアー

高知労働局職業安定部訓練課や高知ポリテクセンター、本校において、高知県内のメディアの方に職業訓練を体験していただくという企画がある。

昨年度は本校を会場として開催し、3つのテレビ局が来校し、夕方や夜のニュース、番組のコーナーの一つとして、アナウンサーが実際に溶接を行う場面などを放送していただいた。

訓練生の声（配管科1年合岡舞美さん）

「高校3年生時、進路について考えていると、配管科OBの兄に『1年間で多くの資格が取得できる』と勧められた。高校で土木科を専攻していた私にとっても配管科は、専門性を生かせる可能性を感じた。現在は、液化石油ガス設備士の学科試験に合格し、実技の合格を目指してがんばっている。仲のよい同級生とお兄さんの、お父さんのよい同級生とお兄さんの、お父さんの二人の指導員に囲まれて楽しく訓練している。」

今後の課題

近年、少子化などの影響もあり、年々、入校希望者は減少傾向にある。また、出前授業の際に「高知高等技術学校の名前を聞いたことある人」と高校生に尋ねても、ほとんど手が上がらないといった状況もあり、本校の知名度向上が当面の課題と捉えている。

（副校長 岡本幸）